

すわみつえ通信

No.301 2024年1月29日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届け
たい声がある 声をかたちに

能登半島地震募金1億円 ご協力ありがとうございます

日本共産党の小池晃書記局長は1月22日(月)、国会内で記者会見し党が取り組んできた能登半島地震の救援募金活動に1億円を超える募金が寄せられたとして、「募金を寄せていただいたすべての方にお礼を申し上げます。全額をすみやかに被災自治体にお届けし、被災者救援に活用していただきます」と述べました。小池氏は、党本部に寄せられた募金が1億162万円

(22日正午段階)になったと報告。「15日に第1次分として6800万円を被災地に届けており、残りの全額を第2次分として被災地にお届けします」と述べました。鴻巣市でも毎週、各駅頭で募金のお訴えをしております。また、直接お寄せいただいた方も沢山おり、227,960円(1月26日)を本部に納入しました。引き続きご協力をお願いいたします。



梅村さえこ衆院北関東比例候補
募金呼びかけ=26日、さいたま市



クレアこうのす=22日

鴻北労連「2024年新春旗開き学習会」に参加して

1月22日(月)クレアこうのすで開かれた、鴻巣・北本地域労働組合連合会(鴻北労連)の旗開きに参加しました。春闘勝利に向けて、学び実のあるたたかいにする取組に敬意を表し、日本共産党鴻巣市議団としてご挨拶をさせていただきました。

引き続き行われた、埼玉県労働組合連

合会議長の飯島氏による学習会「物価高騰を上回る賃上げを実現しよう」にも参加しました。飯島氏は「人権」のとらえ方の歪みをただす観点から、「春闘」は「人権」を守り「人間の尊厳」をかけた「たたかい」であると説きました。

閉会には全員で「ガンバロー」で締め、久々に労働者の気分になりました。

市議会で中学校給食センター施設見学そして試食

2021年4月新設の中学校給食センターでは市内8校の給食3000食を作っています。朝6時から始まり午後3時の片づけまで衛生管理を徹底した環境で作業が進みます。アレルギー食は対象生徒に直接手渡しとするなど安全管理も徹底しています。さて、見学した1月26日(金)のメニューは生徒に人気のカレーです。小麦粉とカレー粉でルーをつくる本格派でとても美味しかったです。栄養士さんの話から食材高騰の中での工夫も大いに感じられました。2024年度は食材費1食25円の市財政補助がされますが、オムレツを唐揚げに戻すことやデザートを付けることは難しいと感じました。学校生活の中で楽しみの給食がさらに豊かになるよう議会で頑張ります。



【俳句コーナー】
凍えし魂よ能登よ日よ登れ

改定の議案と生活者支援給付金に伴う補正予算案の2件を審議します。
臨時議会開催 1月30日(火)臨時議会

市川水色

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。
(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

国民の怒り代弁し 希望を示す論戦を



議員団総会でいさつする田村智子委員長
=26日、衆院第一議員会館

国会開会 共産党が議員団総会

第213通常国会が26日、招集されました。会期は6月23日までの150日間です。今国会は自民党派閥の政治資金裏金問題で国民の怒りが広がる中、岸田文雄首相の施政方針演説が「政治と力ネ」をめぐる予算委員会後に先送りとなる異例の幕開け。日本共産党の国会議員団総会では、第29回党大会で新たに選出された田村智子委員長が初めてあいさつに立ち、「自民党政治を終わらせる国民的大運動」を起こす先頭に立って奮闘することを呼びかけ、「国民の怒りを代弁し、政治を変える希望を示す論戦が要求運動を激励し、さらに広げる力となる」と訴えました。

(しんぶん赤旗 1月27日付)

こちら経済部

狂った体温計

株価の上昇が目立ち、「バブル後最高値」との見出しが連日のようにニュースを飾ります。株価は「経済の体温計」といわれることがあります。株価は企業の業績を反映し、企業の業績は経済状況に左右されることが多いからです。

足元の株価上昇は海外投資家が押し上げています。国民生活が豊かになっているわけではありません。日銀の生活意識調査では半数を超える人が暮らし向きに「ゆとりがなくなってきた」と回答しています。賃金の上昇幅以上に、物価が上昇しており、この先も物価上昇が続くとみているからです。

企業業績と国民生活の乖離が目立ちます。輸出大企業を中心に業績好調の要因である円安は、一方で輸入物価を上昇させ国民生活を苦しめています。株価の上昇は国民生活の向上とは結びついていません。株価から経済状態を測るのは「狂った体温計」で体調管理するようなものです。 (しんぶん赤旗 1月27日付)

良い情報、言葉と出会って・・・鴻巣高 で出前講座 1年生280人が新聞の 優位性、情報リテラシー学ぶ



新聞を通じて情報リテラシー（情報を適切に判断し、情報を通じて決定を下す能力）を身に付けるという出前講座が18日、埼玉県鴻巣市大間の県立鴻巣高校で開かれ、1年生約280人が参加した。講師を務めた埼玉新聞編集局は、能登半島地震でも虚偽の情報がインターネット上に流布されたことを紹介。「安易にリツイートすることでうそを拡散させてしまう」と指摘しました。また、情報に触れる際は、誰が発信しているのか、根拠は示されているかなど、自分の頭でよく考えることを強調した。（埼玉新聞 1月26日付）

能登半島地震 鴻巣・法要寺、被災地に義 援金を 石川県珠洲市の「ツツジ」歴史が縁

能登半島地震で甚大な被害を受けた石川県にゆかりがある埼玉県鴻巣市本町の法要寺が、義援金を募っている。同寺は江戸時代に加賀藩が参勤交代の際に休憩したと伝わり、その歴史が縁で同県珠洲市のキリスト教徒が約2年前に境内に寄進された。

(東京新聞 1月26日付)



法要寺には境内にたくさんある石像があり、お尻をツンと突き出した狛犬がかわいい。